

常任委員会活動報告

総務文教委員会

総務文教委員会は、6月16日、給食共同調理場（給食センター）で視察研修を行いました。

以前から懸案だった調理機器の老朽化問題に関し、本年度夏休み中に機器を更新するための予算措置がされたことに伴い、委員会としても



教育課から現状と更新計画の説明を受けました

現状を把握しておく必要があるという点とで実施したものです。

担当課の説明によると、衛生面や調理作業の安全面等を考慮し、夏休み期間中に洗浄機や真空冷却機、ガス回転釜等を更新する。またこれによつて、2学期以降、給食のメニューも増やす事が可能になるといふことでした。

説明終了後委員は、当日の小・中学校の給食を試食しました。

総務文教委員会としては機器の更新後、再度視察研修を行い、給食がどのようなかわったか検証したいと思つていきます。



機器更新後の給食が楽しみです

民生産業委員会

民生産業委員会は、7月6日、公立として残った保育所（剣第一・古月・西川第二）と民営化された保育



保育士から現状の説明を受けました

所（剣第二・西川第二）の現状を把握するため、現地視察を行いました。

町立の保育所では本年5月、待望のエアコンが設置され、給食やお昼寝、また雨の日の保育が快適にできるようになったと保育士から説明がありました。しかし、施設本体が古いため、他にもトイレ

など改善すべきところが見られ、担当課長には更に改善に向けて検討するよう申入れをしました。



西川第二保育所の視察状況

民営化された2保育所では、所長から

4月以降3カ月間の状況について説明を受けましたが、まだ大幅に変わっていないところはありませんでした。今後、民営の特徴を生かして保育所運営をしていくということですが、

委員会としては、今後も公立、民営を問わず、福祉の立場から推移を見ていきたいと考えています。

陳情

安全・安心な国民生活実現のため、国土交通省の地方出先機関の存続を求める意見書提出に関する陳情

全員賛成で採択

【要旨】 国民の安全・安心に明らかにすること
 3 現在直轄で整備・管理をしている道路・河川行政は国の責任を明確にし、安易な地方整備局・事務所・出張所の廃止や地方移譲は行わないこと
 4 国民生活に視点をあてた行政の民主化への転換を図ること

記

1 「地方分権」道州制導入については、迅速に結論を出すことを避け、国民生活に対するメリット、デメリットなどの情報を事前に開示し、十分な時間を確保した議論を経た後に結論を出すこと

【陳情者】

国土交通省
 管理職ユニオン九州支部
 支部長 馬場 晴夫

【送付先】

内閣総理大臣 麻生太郎
 国土交通大臣 金子一義
 福岡県知事 麻生 渡

2 財源、国民負担、負担割合などは、議論する過程でその内容を地域ご